

横浜市立芹が谷中学校 学校評価報告書 (平成25年度～平成27年度)

共通取組 重点取組	平成25年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力	・授業研を行い、教員互いの授業力の向上を目指すとともに、職場体験などのキャリア教育や読書活動等を通して基礎学力を養う。	・教員が互いに授業を見合うことをすすめてきた。来年度、引き続き基礎基本の定着を目指す授業研究を検討する。	A B C D
2 豊かな 心	・道徳教育の充実を図るとともに、学校行事などの活動を通じて良好な人間関係を築けるようにする。	・今後も「挨拶」を学校生活の基盤にすえ、道徳教育との関係を工夫する。 ・校内環境の美化に努め、生徒の心に働きかける。	A B C D
3 健やかな 体	・学校保健計画に従い、生徒自ら健康の保持、増進を進める態度を養うように指導を行う。	・学年ごとの、健康や安全な生活に関する講演などを通して、生徒の意識を高めるようにする。	A B C D
4 教育課程 学習指導	・小中一貫カリキュラムの小中の相互理解を進め、なめらかな学習の連続を図ります。 ・「授業力研修」や「授業研究日」の実施、地域・保護者・生徒対象の授業アンケートの実施、	・中学校ブロックでの教育課程合同報告会や授業研を充実させ、9年間を通じた学力の定着に取り組んだ。	A B C D
5 児童生徒 指導	・生徒理解に努め、教育相談の充実を図るなどしながら、情報を共有し、適切な生徒指導につなげる。 ・いじめについての研修をすることともに、早期発見、丁寧な指導を心掛ける。	・挨拶の励行をさらに推進し、思いやりと豊かな心を育成する道徳教育を推進した。 ・具体的な対応について保護者や関係機関と連携し、組織的対応をした。	A B C D
6 特別支援 教育	・特別な支援が必要な生徒に対し、その特性に応じた教育環境を整備します。 ・個別支援学級と一般学級の子どもの定期的な交流や、学校行事での交流を積極的に実施する。	・定期的なケース会議を開催し、その内容を全職員で共有し、生徒個々の対応につなげた。 ・保護者や関係機関と連携し、個に応じた教育活動を実現した	A B C D
7 地域連携	・中学校区2小学校PTAとの連携を進め、PTAが主催する行事の実現に協力する。 ・連合町内会などの場で学校の様子を紹介し、地域の方々との連携を進める。	・地域行事への参加、地域防災訓練、地域清掃などを通して、生徒の地域に生きる者としての意識向上につながった。	A B C D
8 人材育成 組織運営	・メンターチームを組織し、授業力向上のための研究や研修に組織的に取り組めるようにした。	・メンターチーム研修を実施し、授業力向上を目指した。先輩教諭からの助言は教師としての意識向上につながった。さらなる定着を目指したい。	A B C D

小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果	・小中学校間の交流を通して、相互の理解を深めるとともに、生徒指導専任教と児童支援専任教諭の連絡会などを通して情報を共有し、迅速・適切な生徒指導につなげることができた。 ・ブロック3校全職員参加の夏の教育課程共通理解研修会の開催は、その後の授業研の活性化や深まりにもつながった
学校関係者 評価結果	・適時、便りやホームページなどを通じた学校からの情報提供を望む。 ・学力の定着をはかるためにも、わかりやすい授業を望む。 ・いじめや生徒間トラブルの解決にむけ、適切な生徒指導を望む ・地域の人間と生徒が語らえるような意見交換のできるような場を大切にしたい。 ・地域防災拠点訓練への生徒参加を評価するも、挨拶の意義について学ばせてほしい。 ・体育館トイレの老朽化や格技場がないことなどへの対応を望む。
評価結果に 対する 学校の見解	・地域に根差した学校を実現するためにも、小中一貫の取り組みを推進していきたい。来年度はさらに挨拶励行を指導の中心に据えていきたい。 ・学力定着はもちろん、生徒指導の視点からも、わかる・楽しい授業の実現に向けて研修をより充実させていく必要がある。

学校経営 中期目標 達成状況	・保護者や地域と連携を図りながら、地域活動を通してあいさつの励行など生徒のコミュニケーション能力を引き続き育てていきたい。 ・日常の生徒との会話や教育相談活動の充実により、生徒理解を基本とした生徒指導の教職員の意識がより高まってきた。生徒の心を育むとともに、今後さらに授業力の向上を図り、学力の向上につなげていきたい。
----------------------	--

共通取組 重点取組	平成26年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力	○キャリア教育等、総合の時間を通して自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成した。	○1年生は職業調べ、2年生は職場体験、3年生は高校調べをして、将来を見通した進路選択ができるように段階的な教育を行った。	A B C D
2 豊かな 心	○道徳教育を要とした教育活動を展開し、各教科を横断的かつ総合的にとらえた『横浜の時間』を中心に据え、自己表現能力の長けた生徒の育成をめざした。	○全校一斉に課題図書を読み、人権、家族愛、郷土愛、男女の協力、環境、伝統文化について考えた。	A B C D
3 健やかな 体	○学校保健計画を全職員で共有し、生徒自ら健康の保持、増進を進める態度を養うように指導を行った。	○保健の学習及び保健便りなどで健康生活、健康管理の保健指導を行い、知識をつけた。	A B C D
4 教育課程 学習指導	○「授業力研修」や「授業研究日」の実施、地域・保護者・生徒対象のアンケートの実施、視聴覚教材等の活用等を通して「できる喜び・わかる楽しさ」をめざした。	○今年度は3年生の英語で授業力向上研修を行った。2年生の理科の授業力向上研修はインフルエンザの流行により未実施。	A B C D
5 生徒指導	○挨拶の励行をさらに推進し、思いやりと豊かな心を育成する道徳教育を推進した。 ○生徒理解に努め、情報を職員間で共有し、適切な生徒指導につなげた。	○左記の通り、実施し、こころを育てるうえで一定の成果を収めることができた。	A B C D
6 特別支援 教育	○子ども一人ひとりの実態に応じた適切な支援を「ケース会議」等で職員に共有し、学校全体で指導・支援を進め、すべての子どもが安心できる居場所のある学校づくりを進めた。	○特別支援が必要な生徒の受入体制をさらに整備する必要がある。 ○個別支援学級と一般学級の子どもの定期的な交流や、学校行事での交流を積極的に実施した。	A B C D
7 地域連携	○PTAとの連携を進め、PTAが主催する花火大会、カレーライス、豚汁の実現に協力した。 ○連合町内会の方々との連携して地域防災事業を進めた。 ○学家地連合では、中学校を会場にふれあいコンサートなどを実施した。	○左記の通り、実施し、地域や保護者への感謝の気持ちをさらに深めることができた。	A B C D
8 人材育成 組織運営	○各指導部等の代表が他と連携し、リーダーとしての力を発揮しているよう、諸会議の機能を充実した。	○左記の通り実施した。経験年数の浅い教員を中心にメンター研修を行い、情報共有を行い、よりよい指導力を身につけた。	A B C D

小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果	小学校の授業を見学し、その後、小中一貫カリキュラムの小中の相互理解を進め、なめらかな学習の連続を図った。
学校関係者 評価結果	「まち」とともに歩む学校づくり懇話会において本校の教育活動は概ね満足しており、生徒のあいさつも素晴らしいという感想をいただいた。
評価結果に 対する 学校の見解	自尊感情を育てる、学力の向上、行事の検討が課題であり、情報発信を充実させて、具体的に学校の取り組みを伝えていくことが今後の課題。

学校経営 中期目標 達成状況	・あいさつの励行や地域行事への参加などを保護者や地域とともに取り組み、コミュニケーション能力と共に、地域に生きる生徒の育成につながった。 ・日常の生徒との会話や教育相談活動の充実により、生徒理解を基本とした生徒指導の教職員の意識がより高まってきた。今後、特別支援教育の視点を充実させ、さらに授業力の向上を図り、学力の向上につなげていきたい。
----------------------	---

共通取組 重点取組	平成27年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力	○キャリア教育等、総合の時間を通して自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。		A B C D
2 豊かな 心	○道徳教育を要とした教育活動を展開し、各教科を横断的かつ総合的にとらえた『横浜の時間』を中心に据え、自己表現能力の長けた生徒の育成をめざす。		A B C D
3 健やかな 体	○学校保健計画を全職員で共有し、生徒自ら健康の保持、増進を進める態度を養うように指導を行う。		A B C D
4 教育課程 学習指導	○「授業力研修」や「授業研究日」の実施、地域・保護者・生徒対象のアンケートの実施、視聴覚教材等の活用等を通して「できる喜び・わかる楽しさ」をめざす。		A B C D
5 生徒指導	○挨拶の励行をさらに推進し、思いやりと豊かな心を育成する道徳教育を推進する。 ○生徒理解に努め、情報を職員間で共有し、適切な生徒指導につなげる。		A B C D
6 特別支援 教育	○子ども一人ひとりの実態に応じた適切な支援を「ケース会議」等で職員に共有し、学校全体で指導・支援を進め、すべての子どもが安心できる居場所のある学校づくりを進める。		A B C D
7 地域連携	○PTAとの連携を進め、PTAが主催する花火大会、カレーライス、豚汁の実現に協力する。 ○連合町内会の方々との連携して地域防災事業を進める。 ○学家地連合では、中学校を会場にふれあいコンサートなどを実施する。		A B C D
8 人材育成 組織運営	○各指導部等の代表が他と連携し、リーダーとしての力を発揮しているよう、諸会議の機能を充実させる。		A B C D

小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果	
学校関係者 評価結果	
評価結果に 対する 学校の見解	

学校経営 中期目標 達成状況	
----------------------	--